

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【公開番号】特開2000-351984(P2000-351984A)

【公開日】平成12年12月19日(2000.12.19)

【出願番号】特願2000-146450(P2000-146450)

【国際特許分類】

C 1 0 M 169/04 (2006.01)

C 1 0 M 101/02 (2006.01)

C 1 0 M 129/10 (2006.01)

C 1 0 M 129/40 (2006.01)

C 1 0 M 129/44 (2006.01)

C 1 0 M 129/76 (2006.01)

C 1 0 M 133/12 (2006.01)

C 1 0 M 133/38 (2006.01)

C 1 0 M 133/44 (2006.01)

C 1 0 M 133/56 (2006.01)

C 1 0 M 135/22 (2006.01)

C 1 0 M 135/30 (2006.01)

C 1 0 M 145/26 (2006.01)

C 1 0 N 30/08 (2006.01)

C 1 0 N 30/10 (2006.01)

C 1 0 N 30/12 (2006.01)

C 1 0 N 40/08 (2006.01)

【F I】

C 1 0 M 169/04

C 1 0 M 101/02

C 1 0 M 129/10

C 1 0 M 129/40

C 1 0 M 129/44

C 1 0 M 129/76

C 1 0 M 133/12

C 1 0 M 133/38

C 1 0 M 133/44

C 1 0 M 133/56

C 1 0 M 135/22

C 1 0 M 135/30

C 1 0 M 145/26

C 1 0 N 30:08

C 1 0 N 30:10

C 1 0 N 30:12

C 1 0 N 40:08

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月8日(2007.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

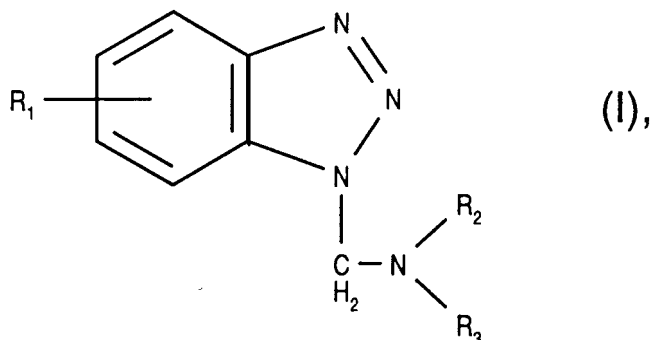
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 水素化処理された油または水素化脱ワックスされた油；

(b) (i) 次式 (I)

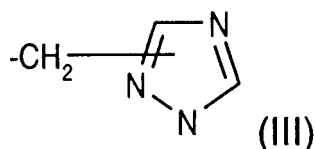
【化 1】



〔式中、 R_1 は水素原子または炭素原子数 1 ないし 12 のアルキル基を表し、そして R_2 および R_3 は、互いに独立して水素原子、炭素原子数 1 ないし 20 のアルキル基、炭素原子数 3 ないし 20 のアルケニル基、炭素原子数 5 ないし 12 のシクロアルキル基、炭素原子数 7 ないし 13 のアルアルキル基、炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基、ヒドロキシ基を表すか、または R_2 および R_3 は、それらが結合している窒素原子と一緒に、5 -、6 - または 7 - 員複素環式残基を表すか、または R_2 および R_3 は、それぞれ次式 (II)

$R_4 X [(\text{アルキレン}) O]_n (\text{アルキレン}) -$ (II) (式中、 X は酸素原子、硫黄原子または窒素原子を表し； R_4 は水素原子または炭素原子数 1 ないし 20 のアルキル基を表し；アルキレンは炭素原子数 1 ないし 12 のアルキレン残基を表し；そして n は 0、または 1 ないし 6 の整数である。) で表される残基を表すか、または R_2 は上述で定義された通りであり、そして R_3 が次式 (III)

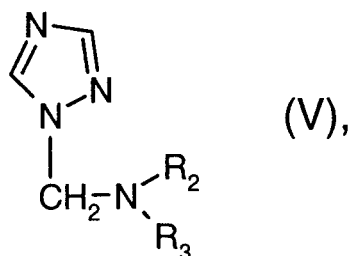
【化 2】



で表される残基を表すか、または上述で定義された式 (II) で表される残基を表し、そして R_2 は次式 (IV)

$- [\text{アルキレン}]_n - N (R_5) - A - [N (R_5)_2]_m$ (IV) (式中、 m は 0 または 1 であり、そして m が 0 である場合、 A は式 (III) で表される残基を表し、そして m が 1 である場合、 A はアルキレン基または炭素原子数 6 ないし 10 のアリーレン基を表し；そしてアルキレンおよび n は上述の意味を有し；そして R_5 は上述で定義された式 (III) で表される残基を表す。) で表される残基を表す。) で表される金属奪活剤の有効安定化量；あるいは (ii) 次式 (V)

【化 3】



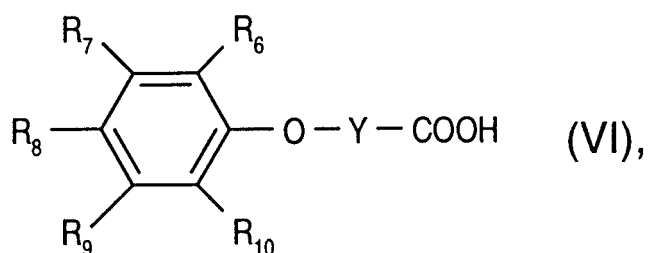
(式中、 R_2 および R_3 は上述で定義された通りである。)で表される金属奪活剤の有効安定化量；

(c) 立体障害性フェノール系酸化防止剤の有効安定化量；

(d) 芳香族アミン酸化防止剤の有効安定化量；

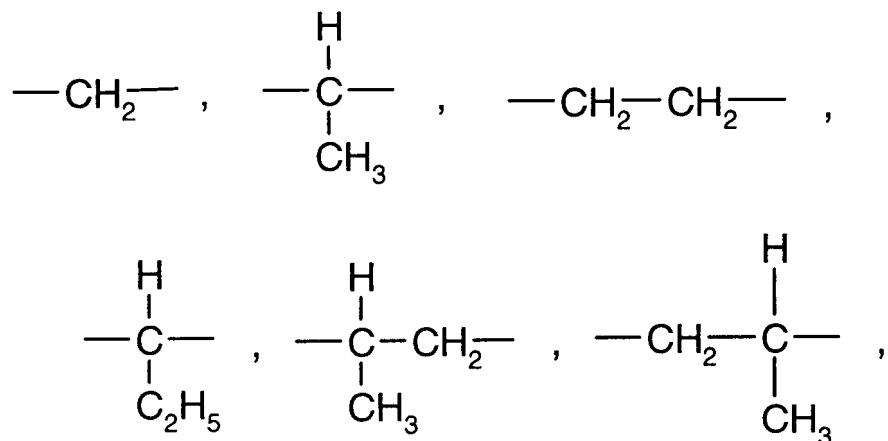
(e) 次式(VI)

【化4】



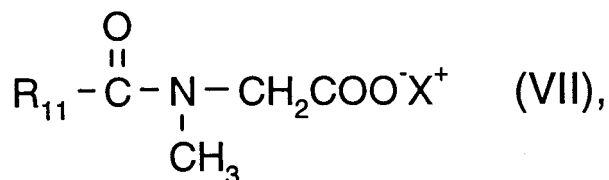
(式中、 R_6 、 R_7 、 R_8 、 R_9 および R_{10} は、互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし20のアルキル基を表し、そしてYは

【化5】



および $\text{---CH}_2\text{---CH}_2\text{---CH}_2\text{---}$ ；からなる群から選択された、飽和または不飽和の炭素原子数1ないし20の二価の炭化水素基を表す。)で表されるアルキルフェノキシアルカン酸の有効安定化量；および(f)次式(VII)

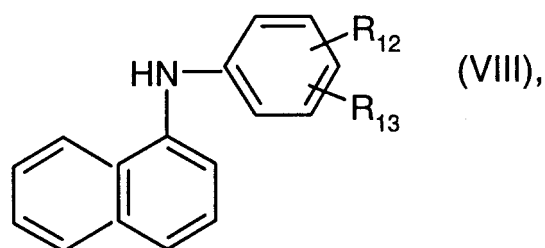
【化6】



(式中、アシル基 $\text{R}_{11}-\text{C}(=\text{O})-$ は 10 ないし 20 個の炭素原子を有する脂肪酸の残基を表し、そして X^+ は水素イオン、アルカリ金属イオンまたはアンモニウムイオンを表す。) で表される n -アシルサルコシン誘導体の有効安定化量；からなる潤滑剤組成物。

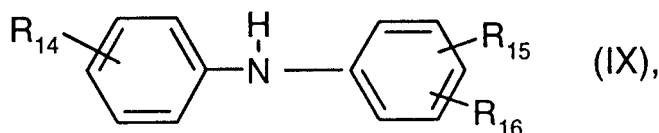
【請求項 2】 (b) が 1-[ビス(2-エチルヘキシル)アミノメチル-4-メチル]ベンゾトリアゾールであり；(c) が 3,5-ジ第三ブチル-4-ヒドロキシヒドロ桂皮酸，炭素原子数 7 ないし 9 のアルキルエステルであり；(d) が次式 (VIII)

【化 7】



(式中、 R_{12} は水素原子または炭素原子数 8 ないし 13 のアルキル基を表す。) で表されるフェニルナフチルアミンか、次式 (IX)

【化 8】



(式中、 R_{12} は水素原子を表し、 R_{13} は水素原子または炭素原子数 8 ないし 13 のアルキル基を表す。) で表されるジフェニルアミンであるか；または (e) がノニルフェノキシ酢酸であり；そして (f) が次式 $\text{C}_{17}\text{H}_{33}-\text{C}(=\text{O})-\text{N}(\text{CH}_3)-\text{CH}_2\text{COOH}$ で表される n -アシルサルコシンである請求項 1 記載の潤滑剤組成物。